

山口プレゼミナール調査報告

〈横浜市磯子区岡村について

山口プレゼミナールは一年を通して開講され、前期は座学を中心に地理、景観等について学びました。前期の後半では何度かまち歩きを行い、実際にまちを見て歩くことで、座学で得た知識の理解を深めていきました。後期は、まち歩きで得たものを深める作業、及び形に残す作業を行いました。ここでは、このプレゼミナールでの一年間を簡単に振り返りながら、調査地区である、横浜市磯子区岡村について紹介したいと思います。

まず始めに、この横浜でどうして岡村を調査地区としたのか、それは「夏色」や「栄光の架橋」でよく知られるゆずの二人の地元だからです。岡村は、ゆずの「岡村ムラムラブギウギ」という曲をはじめとして、地元について歌われている曲に登場する場所が複数あり、ゆずのファン（ゆずっこ）が聖地巡礼に訪れる場所になっています。

岡村について

横浜市磯子区にある岡村は、横浜市の南東に位置している住宅街です。最寄り駅は上大岡駅、磯子駅、弘明寺駅などが挙げられますが、少し距離があるので、それぞれの駅から様々なバスが走っています。そのため、「岡村ムラムラブギウギ」

の歌詞にもあるように、バスがとても多く走っています。道幅が狭い場所も多く、バスとすれ違う時にはいつも注意して歩かなくてははいけません。また、初めて訪れた際に、古い建物が多く残っていて、レトロを感じるまち、という印象だったのですが、後期になってから昔の住宅地図と比較してみると、変わっていない部分を探す方が難しいくらいの変遷があったことが分かりました。

そして、七月のまち歩きでは、実際に聖地巡礼を行いました。歌われている場所の範囲は岡村の中でもある程度絞られているものの、それなりに点在していて、それらを巡っていく中で感じたのは、バスと坂の多さ、加えて一つ一つの坂が急であることです。急勾配の坂を上ったり下ったりしなければ目的地にはたどり着けず、岡村の聖地巡礼は体力勝負でもあると感じました。「夏色」で歌われている坂も、想像以上に長く、急な坂道です。そして岡村には、かつて川だった所が埋め立てられて道となっている暗渠があります。前期の座学で暗渠について学んでいたので、岡村ですぐにその知識を活用できました。

岡村に多くのゆずっこが訪れるのは、ゆずのコンサートが横浜で開催される日で、岡村では「ゆ

国際日本学部 国際文化交流学科2年 眞山 萌

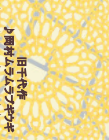
ず注意報」というものが発令されるそうです。発令日に行ってみると、夏真っ盛りでしたが、何組ものゆずっこが歩いているのを見かけました。また、発令日ではない土曜日に行った際にも、ゆずっこを見かけたので驚きました。三殿台遺跡の方が、天候の良し悪しに関わらず来てくれるゆずっこの存在はありがたいとおっしゃっていて、ゆずの影響を感じました。まちの方もとても親切に教えてくださり、ゆずのイラストのポストカードや、岡村マップを配布しているお店もあります。

ゆずっこマップ制作

岡村を巡ってみて、観光文化コースに所属していることもあり、岡村ゆずっこマップを作成することにしました。観光地に行くと、大量のパンフレットを持って帰ってくる習性がある私にとって、楽しみな作業の一つでした。しかし、そんなに簡単なものではありませんでした。地図の見やすさ、印刷するためのサイズ、フリー素材の権限など…考慮しなければならない点が多く、締め切りに間に合わないこともあり、先生にご迷惑をおかけしました。観光地ごとに、多種多様で興味を惹くパンフレットや地図が無料配布されているこ



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校



山口県立山口高等学校

現地を歩いて作成した「岡村ゆずっこマップ」

(一部の写真は掲載していません)

とのすごさを感じました。また、実際に観光マップ作成の経験をしたことで、観光マップを見る際の新たな視点も生まれ、とても意義のある活動だったと感じています。

最後に

このプレゼミナールの講義を通して、普段通る道や風景の見え方が変わってきて、今後観光地を訪れる際にも、受講前とは違う、より深い視点からまちを楽しめると思います。調査地区をはじめとして全面的にオーダーメイドの講義を受けた経験は後にも先にもありません。この一年間の経験を活かして、今後の大学生活、そしてゆづっことしてこれからの岡村の変遷を楽しみたいと思います。

.....